



千歳セントラルロータークラブ

ROTARY INTERNATIONAL District 2510

RI テーマ「ローターに輝きを」

発行 千歳セントラルロータークラブ 会長 白木松敏 / 副会長 大久保 尚 / 幹事 坂井 治 / 会報委員会 委員長 齊藤博司
 〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4-4 ホテルグランテラス千歳 TEL.0123-26-5788 FAX.0123-25-9112
 Mail.membership-office@ccrc.jp HP.http://www.ccrc.jp Facebook.http://www.facebook.com/chitosecentral

WELCOME

副会長 大久保 尚

大徳 吉則 様 公益財団法人 北海道盲導犬協会
 事務局渉外・庶務担当部長

竹形 智子 様 北海道盲導犬ユーザーの会 会員

菊池 悦子 様 千歳視覚障害者福祉協会 会長

サンディー号 盲導犬キャンペーン犬

会長あいさつ

会長 白木 松敏

みなさん改めまして今晚は、

1 年間で一番、冷え込む季節の 2 月に入りました。先日も言いましたがくれぐれも足元の滑りに注意しながら活動していただきたいと思います。

今月 2 月のローターの月間目標は世界理解月間です。世界理解と平和の日で私達人間同志が国境を越え互いが人道主義や人権を尊重しながら文化や習慣の違いがあっても互いがそれを受け入れ理解し合い平和を保たなければなりません。その為、さまざまな方向から色々な活動をしていかなければなりません。その一部が私達のローター活動でもあります。今後も自信を持って普段からコツコツと活動をして行こうではありませんか。

さてみなさんのテーブルの上には毎回の例会に掲げております会長方針の一部である半期毎の下半期スローガンを入れ替えさせていただきました。昨年の 7 月 1 日の段階では会員 31 名でスタート致しましたが本日現在では 4 名の方が入会していただき会員数 35 名となりました。目標の 40 名まで後 5 名です。どうか宜しくお願いを致します。

また、下半期のクラブ内のスローガンを掲げさせております。

【誉める・アドバイス】

～誉める・アドバイスはバランス良く～

人はイヤ・イヤ活動するよりも誉められ励まされて活動する方が気持ちは弾むし創意工夫も発揮され活動の能力も上がる、また「誉められた人は、いつまでも心の中に残るものです」

と言う下半期のスローガンは特に新会員を育て定着して

例会出席状況 (2015 年 2 月 3 日)

会員数	35 名
会員出席者数	27 名
欠席者数 (内: 無断欠席)	8 (1) 名
出席率	77.14 %
ゲスト・ビジター出席者数	3 名
出席者数総計	30 名

前回例会 確定出席率 (2015 年 1 月 27 日)

確定出席率 (MU 含む)	74.29 %
---------------	---------

2 月 誕生月の会員

野口三恵子 会員	1955 年 (昭和 30) 2 月 12 日生
----------	--------------------------

いただく為に私達、先輩達が新会員のみなさんに心配りしなければならない内容です。このような目標を達成し我が千歳セントラル R C が活気のある活動になるようお願いを致しまして私、会長あいさつと致します。ありがとうございました。

幹事報告 幹事 坂井 治

- ローター財団、ローター米山記念奨学会より確定申告用領収証が届いています。各会員レターボックスに投函していますので、ご確認をお願いします。
- (株)クマヒラ会長 熊平雅人様 (東京 RC 会員) より冊子「抜萃のつづり」が届きました。各テーブルに置いてありますので是非お持ち帰りになってお読みください。
- 千歳市立北栄小学校スクールバンドより第 34 回定期演奏会終了のお礼状が届いています。
- ポール・ハリス・フェロー認証状・襟ピンが届きました。
 - 尾本 真二 会員
 - 武田 伸也 会員
- 国際ローター第 2510 地区嵯峨義輝ガバナーエレクトよりアメリカ・サンディエゴで開催されている国際協議会で研修をされているとの葉書が届きました。2015-2016 年度の国際ローターテーマが決定しま



した。
「Be a gift to the world」
(世界へのプレゼントになろう)

各委員会報告・連絡

第 2510 地区奨学金委員会 委員長 齊藤 博司

31 日、地区の学友帰国報告会がありました。彦坂会長年度に推薦し、白木会長年度に帰ってきた畑村奈津子さんが出席しました。白木会長、奨学金委員として私と関根さんが出席してきました。ご報告申し上げます。

創立 25 周年準備委員会 委員長 今井 章夫

急な連絡で申し訳ありません。例会終了後、創立 25 周年準備委員会を開かせていただきます。若干の時間ですので宜しくお願いします。

ポール・ハリス・フェロー認証

- ☆尾本 眞二 会員
- ☆武田 伸也 会員



ニコニコ BOX

進行：出席・ニコニコ箱委員会 委員長 菅原 百合子

武田 伸也 会員：ポール・ハリス・フェローをいただきました。ということは入会して 10 年となります。こんな私でも 10 年間ローターを続ける事が出来ました。皆さんのおかげです。有難うございます。

尾本 眞二 会員：同じく武田会員より半年遅い入会でしたが、10 年という事で一区切りです。有難うございました。

羽芝 涼一 会員：母の葬儀の際は有難うございました。四十九日がようやく終わり表に出られるようになりました。

井上 英幸 会員：今日皆さんに恵方巻を食べていただきました。昨年、我が社の北栄のセブンイレブンが 920 店舗中 1 位でした。今年 2 連覇を目指して頑張りました。おかげさまで 1000 店舗中第 1 位ということでディフェンディングチャンピオンの座を守り通しました。ちなみに昨年全国 1 万 2 千店舗中 51 位でしたが、今回は 45 位で少し順位が上がりました。グループ 5 店舗合わせて 5 千本位を捌くことが出来ました。5 千本売っても全国では 20 位に入りません。大変皆さんにはご協力いただきました。今日は一緒につみれ汁が出ています。特別に笹谷さんに

お願いして作っていただきました。恵方巻とつみれ汁はなぜか知れませんがセットだそうです。皆さんの健康が益々続きますように西南西を見て食べていただければと思います。有難うございました。



本日のニコニコ BOX 合計額	35,000 円
今年度 累計額	555,516 円

本日の例会プログラム

通常夜間例会

「卓話 目の不自由な方と盲導犬」

講師 公益財団法人 北海道盲導犬協会
 事務部渉外・庶務担当部長 大徳 吉則 様
 担当 理事会 (会長 白木 松敏)

今日は盲導犬協会関係者が 3 名いらっしゃっています。そして特別ゲストはこちらのサンディーちゃん、女の子です。こちらも含めて大徳吉則さんに 20 分まで卓話を頂戴しその後 10 分ほど千歳視覚障害協会の菊池悦子さんにお話いただきます。では、皆さん有意義な卓話を聞いて下さい。宜しくお願いします。

講師 公益財団法人 北海道盲導犬協会
 事務部渉外・庶務担当部長 大徳 吉則 様

今日はキャンペーン犬のサンディーと一緒に来ておりますので、サンディーも見えるように前に出てお話させていただきます。先ほど今日私が連れてきている盲導犬もご紹介していただきました。名前はサンディー、女の子で 7 歳になります。2 歳からずっと盲導犬の啓発活動をやっていますので、今は私と同じように広報部長で同僚になります。犬の種類はラブラドルレトリバーという種類のイヌになります。先ほど会長のスローガンで誉めるといことがありました。盲導犬の訓練も一般の方は、辛く厳しい訓練をしているのではないかというふうに思っている方が多いのですが、盲導犬の訓練は厳しく躰けるの



ではなく、良く出来た時に良く誉めることで盲導犬を訓練しています。厳しくつけても盲導犬を使うのは訓練をしたことのない視覚障害者の方です。誰でも盲導犬が使えるように良く誉めるとい事で育成しています。皆さん生活をしている中で、実際に視覚障害者が扱っている盲導犬を見かけたことがありますでしょうか。3 分の 1 以上の方に手を挙げていただきました。有難うございます。今、日本の国内には 1050 頭ほどの盲導犬が現役で活躍しています。そのうち北海道盲導犬協会が育成した盲導犬というのは、約一割の 96 頭ほどです。北海道盲導犬協会は 1970 年から札幌で盲導犬の育成を始めました。そして昨年度、500 頭目の盲導犬を育成して視覚障害者に無償貸与することが出来ました。これまで累計では 509 頭の盲導犬を育成して視覚障害者に貸与してきました。札幌にある北海道盲導犬協会は、北海道にしかない特色がいくつかあります。盲導犬協会は各都道府県にあるわけではなく、日本国内には 10 か所の盲導犬施設があります。北海道盲導犬協会の特色の一つとして雪道の歩行が出来る盲導犬を育成している施設ということになります。ここ数日間も大雪のニュースが出ていました。盲導犬は繰り返し、繰り返し訓練をする事によって、雪が無い時でも脇道を視覚障害者に知らせます。それを繰り返して訓練する事によって、大雪が降って脇道が雪で埋もれてしまっても、道があるところに来ると視覚障害者を誘導してきて止まります。横断歩道にも雪山を乗り越えていかなければならないような時で犬の目線からは見えない時も、渡りたい時には「横断」という号令をかけると雪山を越えて視覚障害者を誘導していきます。雪道の訓練をしているのは、全国で 1 か所だけです。北海道盲導犬協会が育成している盲導犬は、道内全域は勿論ですが、東北地方や長野でも活躍しています。

もう一つの特徴は、北海道盲導犬協会という犬を訓練している施設と思いがちです。実際には視覚障害者を訓練する施設、視覚障害者のための総合的なリハビリセンターを目指しています。視覚に障害を持った方たちのための施設ということ。盲導犬の訓練はその中の 1 つで、



それだけではなく、白杖を使った歩行訓練も行っています。現在は先天的ではなく、途中で失明される方が大変増えています。若い方は交通事故やいろいろな怪我等で失明する方がおります。ある程度年齢がいった方は白内障や緑内障、糖尿病など病気で失明する方が増えています。途中で失明した方達の生活訓練も行っています。例えば主婦の方が調理をするためにはどうしたらよいか。掃除、洗濯から点字の訓練、音声によるパソコンの訓練等、生活訓練全般を行っています。

もう一つ北海道盲導犬協会の 3 つ目の特徴は、何度か皆さんテレビで見たことがあるかもしれません。引退した盲導犬がいる施設、老犬ホームがある施設になります。これは、世界でも北海道盲導犬協会が初めてということになります。犬も生き物ですので盲導犬は 10 歳から 12 歳の年齢がくると引退をします。盲導犬を使っている視覚障害者の一番の願いは長生きをする盲導犬を作って欲しいという事ですが、やはり生き物ですのでどうしても引退をする時期があります。老犬ホームが出来たのはもう 30 数年前です。北海道で育成された盲導犬の第 1 号は募金箱にもなっているミーナ号という犬です。そのミーナたちが引退するときに安心して老犬を預ける施設が欲しいということで、盲導犬を使っている視覚障害者の人達がお金を出し合って出来たのが老犬ホームです。現在は盲導犬を引退した犬たちは数が増えていて、60 頭位います。老犬ホームだけでは面倒が見られないので、一般のボランティアや小さい時に飼っていたパピーウォーカーの家庭に戻っている犬たちもいます。老犬ホームには 60 頭ですが、老犬ホームで亡くなった後は、協会の敷地内の霊犬安眠の碑で眠りにつくこととなります。3 つ目の特徴としては引退をした老犬ホームがある施設ということになります。

盲導犬が外で働いているときにはどんな仕事をしているのか話してみたいと思います。

盲導犬のしている仕事の一つ目は非常に単純ですが、真っ直ぐに歩くという仕事をしています。人間には利き手があり、足にも利き足があります。目をつぶったままでと真っ直ぐに歩けない身体をしています。盲導犬は歩道がある

時には歩道の端を、歩道が無い時でも車道の端を真っ直ぐに歩くという仕事をしています。

二つ目の仕事は交差点に来ると止まって主人に知らせるという仕事です。よく盲導犬が道のりを覚えていて視覚障害者を場所まで誘導していると思われませんが、実際には人が頭の中に地図を描きながら歩いているということになります。一般の方は盲導犬を見ると、視覚障害者を連れて盲導犬は偉いなと思うかもしれませんが、しかし、実際には人が盲導犬を使って歩いているということになります。あくまでも人が目的を持って、頭の中に地図を描きながら目的地まで歩いているということになります。

そうすると自分の知らないところには盲導犬と一緒にいけないかということではありません。知らない街に降りて分からないと人に聞くと聞きます。盲導犬も人に聞くことによって、もしくは事前に調べる事によって知らない所でも活動する事が出来ます。

一つ目は真っ直ぐに歩く、二つ目は交差点で止まって知らせるという仕事、三つめは視覚障害者の目の代わりになって物を探す仕事です。皆さん目をつぶったまま自宅に帰るのは難しいですが、このホテルから出る事も難しいと思います。盲導犬はこの会場から出たい時には、「ドア」という号令をかけます。そうすると自分が最初に入ってきたドアを探してそこに視覚障害者を誘導していきます。そして、盲導犬が止まった時に頭から鼻先に手を伸ばしていくとその先にドアノブがあります。「椅子」という号令をかけて、止まった時に頭から鼻先に手を伸ばしていくと自分が座る座面を確認する事が出来ます。ここは 2 階ですので、「階段」という号令をかけると自分が昇ってきた階段を探して誘導していきます。勿論下に降りる方法は、階段の他にエレベーター、エスカレーターという号令があります。それぞれ言葉を聞き分けて誘導します。

視覚障害者は毎日、JR やバスを使って通勤している方もいます。「バス停」という号令をかけるとバス停に誘導していきます。バスの中に乗り「椅子」という号令をかけると空いている席を探して誘導していきます。盲導犬は 50 種ぐらいの言葉を覚えていきます。

最後に四つ目の仕事は視覚障害者を安全に目的地に誘導していくという仕事をしています。車社会ですので、私達でも外を歩くときはいつ事故に遭うかわかりません。視覚障害者が単独で外を歩くときは命がけで歩いていることになります。盲導犬は危険な時は命令に従わないという訓練を受けています。これは不服従の服従訓練というものになります。交差点を渡る時に「横断」という号令をかけて横断歩道を探して誘導します。犬は信号の色を見分けられるわけではありません。盲導犬の使用者が耳を使って車の流れを見えています。時計の針でいう 3 時 9 時の方向に音で車が流れていると前の信号は赤信号という事に

なります。その流れが止まって 6 時 12 時の方向に車が流れ出したら青信号ということになります。盲導犬は実は色盲に近いのではないかとされています。信号の音を見分けている訳ではありません。車の音が聞こえない時、例えば田舎の道で赤信号でも車が来ていない時はそこを渡ります。勿論、盲導犬も車には引かれたいないので車が来ているときは「OK」と号令をかけても前に進みません。

視覚障害者は駅のホームなどで去年は何度か事故になっておりニュースを見た方もいるかもしれません。犬はホームの下に降りるのは簡単ですが、横にいる視覚障害者が怪我をしてしまう時には命令に従わない事になります。夏には自転車がたくさん止まっていて、壁との隙間を犬は通る事ができても横にいる視覚障害者がぶつかってしまう。横の人がいる幅の安全を確認します。安全の確保は犬が自分の体だけではなく横にいる視覚障害者の方の横幅と高さの安全を見ながら歩いていることになります。

今日はサンディーが来ていますので犬を使って少し歩きたいと思います。

盲導犬というのは 24 時間仕事をしていると思われがちですが、そうではなくこのハーネスをつけている時だけが仕事という意識を犬も持っています。皆さんが見かける時はハーネスをつけているので仕事の時です。外を歩いているのは 1 時間～2 時間ですのでその間が盲導犬の仕事です。ハーネスを外して家や職場にいる時は自分の場所で自由になっているのが盲導犬の普段の生活です。

(中略)

盲導犬の仕事を 4 つお話しました。もう 1 つ盲導犬の役割があります。視覚障害者の方は皆さん明るい方達ばかりですが、失明した当時の事を思い出すと生きる希望を失くしてしまう方が大変多いです。盲導犬の世話は目の見える方と一緒に生活していても、視覚障害者自身が自分ですよう指導しています。排泄、食事、体の手入れを自分ですよう指導しています。そうすることによって視覚障害者の生活が規則正しいリズムになり盲導犬が自分の心を支えてくれる存在になります。盲導犬というと犬が無償の愛情で人の為に仕えるというイメージがありますが、犬の訓練は良く出来た時に良く誉める、そして犬の世話をしあげる。盲導犬と視覚障害者は喜びを共にしながらお互いに支え合って生きている、生活をしているということになります。短い時間でしたが有難うございます。今後とも宜しくお願いします。

千歳視覚障害者福祉協会 会長 菊池 悦子 様

日頃から皆様方には協会、また個人的に大変お世話になり有難うございます。白木会長より当協会の PR をして下さいというお話をいただき、このような場を設けていただきとても有難く嬉しく思っています。でもすごく緊張しています。



話をするのが苦手なので、上手に伝えられるかどうか不安ですが宜しくお願いします。協会は障害者相互の親睦、障害者の自立更生の促進、そして福祉の向上を目的として

しています。会員数は正会員 32 名、賛助会員 25 名の計 57 名で活動を行っています。活動を幾つかご紹介します。私達は小学校、中学校、各関係機関への福祉体験総合学習を行っています。内容はガイドヘルプ（視覚障害者誘導方法）、白杖体験、視覚障害者の卓球（音卓球）です。この学習体験は今年度約 30 時間行っています。また視覚障害ガイドヘルパー養成の講習会も行っています。道路工事補修や公共施設建設に伴い、ユニバーサルデザインの意見交換、検証依頼もあります。依頼があった時には市や業者から図面をいただき、図面を見て現地に行き確認しながら検証し、視覚障害者だけではなく皆さんにとって優しい便利で利用しやすい事を考えて検証、意見交換をさせて



いただきます。例えば点字誘導ブロックの敷設の仕方、視



覚障害者にとって正しい敷設かどうかもありますが、一般的にそれが不都合な場合もあります。そういった事も検証しながら皆さんにご迷惑がかからないよう程度に利用しやすいように敷設させていただきます。照明、壁の色、設備、トイレ等一つ一つ意見交換していただいて、私達だけでなく一般の方、お年寄りにも優しい設備となるよう検証させて

もらっています。目が見えないので何も出来ないという視覚障害者もいます。しかし私達に出来る事があります。リングブル、愛キャップを今、積極的に回収しています。いつも私達は皆さんにお世話になっているので、何か恩返しをしたいという想いからマッサージ



奉仕活動をさせていただいております。今年度もやりましたが、もしご希望があれば有難いので、声をかけていただくと嬉しいので宜しくお願いします。今後共、お世話になりますが宜しくお願いします。ご

静聴有難うございました。

—— 北海道盲導犬協会に大勢の会員が募金協力を行いました(^_^)

記念品贈呈

卓話講師の大徳吉則様へ白木会長より記念品を贈呈いたしました。

次回例会案内

プログラム委員会 委員長 高木 昌人

次回は 2 月 10 日（火）通常例会です。開会点鐘 12 時 30 分、定例会場。内容は地区国際奉仕検証ツアーの報告となります。担当は地区国際奉仕委員会です。宜しくお願いします。

SCHEDULE

ローター理解推進月間 ■ローター創立記念日・世界理解と平和の日 ■雪見酒 ■ガバナー補佐研修セミナー（地区）	
2 月	10 日 通常例会「国際奉仕検証ツアーの報告」[担当/地区国際奉仕委員会(田口副委員長)] 17 日 移動親睦夜間例会🍷「雪見酒 in ゆきあかり」 会場：ゆきあかり（幸町 2 丁目 3-2）[担当/親睦活動委員会(関根委員長、井上副委員長)] 24 日 通常例会「創立 25 周年記念事業について」[担当/創立 25 周年準備委員会(今井委員長、武田副委員長)]
識字率向上月間 ■ローターアクトの日 ■会長エレクト研修セミナー（地区）	
3 月	3 日 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会] 10 日 通常例会「未定」[担当/社会奉仕委員会(松坂委員長、清水担当副委員長)] 17 日 親睦夜間例会🍷「未定」[担当/親睦活動委員会(関根委員長、井上副委員長)] 24 日 通常例会「未定」[担当/プログラム委員会(高木委員長、尾本副委員長)] 31 日 休会（定款第 6 条第 1 節）
ローター雑誌月間 ■地区協議会（地区） ■清掃奉仕活動	
4 月	7 日 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会] 14 日 通常例会「未定」[担当/広報委員会(四方委員長、武田副委員長)] 21 日 親睦夜間例会🍷「未定」[担当/親睦活動委員会(関根委員長、井上副委員長)] 28 日 通常例会「清掃奉仕活動」[担当/社会奉仕委員会(松坂委員長、多賀担当副委員長)]